平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 ユニチカ株式会社　　上場取引所　東
コード番号 3103　URL http://www.unitika.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 安江 健治
問合せ先責任者　(役職名) 経理部長　(氏名) 石川 省二　TEL 06-6281-5721

四半期報告書提出予定日　平成26年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	119,732	5.2	4,884	27.4	3,658	88.0	2,279	―
25年3月期第3四半期	113,812	△12.1	3,835	△47.1	1,946	△50.1	37	△98.4

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　2,785百万円　(―%)　25年3月期第3四半期　△195百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	3.95	―
25年3月期第3四半期	0.06	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	258,809	24,102	7.9
25年3月期	255,054	21,317	7.0

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　20,420百万円　25年3月期　17,809百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年3月期	―	0.00	―		
26年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,000	3.0	7,500	35.9	4,000	3.8	2,000	―	3.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
②①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 無
④ 修正再表示	: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	577,523,433 株	25年3月期	577,523,433 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	779,008 株	25年3月期	766,802 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	576,751,243 株	25年3月期3Q	576,361,394 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期（平成25年４月１日～平成25年12月31日）のわが国経済は、政府による積極的な経済政策や日銀による金融緩和策を受けて、輸出の回復や個人消費の持ち直しなど緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、為替変動に伴う原燃料価格の高騰や新興国経済の減速、４月からの消費増税による消費マインドの影響など、依然として景気の下振れリスクが存在しております。

このような状況の下、高分子事業やその他の事業で販売数量がおおむね回復してきたため、売上高は119,732百万円(前年同四半期比5.2%増)、営業利益は4,884百万円(同27.4%増)となりました。また、為替差益による営業外収益の増加などにより、経常利益は3,658百万円(同88.0%増)、四半期純利益は2,279百万円(前年同四半期は37百万円の利益)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

【高分子事業】

フィルム事業では、包装分野は、緩やかな需要の回復が続いており販売数量は増加しましたが、工業分野は、電気・電子機器用途の市況が回復せず販売数量は減少しました。また、製品価格改定の浸透が遅れたことに加え、円安の進行によって原燃料価格がさらに上昇したため、事業全体で減益となりました。

樹脂事業では、ポリアリレート樹脂は、自動車用途や情報端末機器用途での販売が好調に推移し、ナイロン樹脂も自動車用途で堅調に推移しました。また、新たにポリエステル材料によるダイレクトブローボトル用途への展開も加速し、事業全体で増益となりました。

不織布事業では、ポリエステルスパンボンドは、農業用途、生活資材用途、土木用途での販売数量の伸長と輸出の収益改善により、増益となりました。また、コットンスパンレースは、ウェットシート用途などが堅調に推移しました。

以上の結果、高分子事業の売上高は48,652百万円（前年同四半期比6.2%増）、営業利益は4,764百万円（同6.3%減）となりました。

【機能材事業】

ガラス繊維事業では、産業資材分野の建築・土木用途を中心に堅調に推移し、また電子材料分野も情報端末機器用途への販売が増え、採算が改善しました。ガラスビーズ事業では、ロードマーキング用途は需要の回復により売上が伸長しましたが、反射材用途は、欧州向けの輸出が依然低調に推移しました。また、活性炭繊維については、水栓内蔵型などの浄水器用途を中心に、自動車用途でも引き続き堅調に推移しました。

以上の結果、機能材事業の売上高は10,741百万円（同1.9%増）、営業利益は1,253百万円（同64.2%増）となりました。

【繊維事業】

産業繊維事業では、ポリエステル高強力糸は、主力の建築・土木用途での市場競争の激化が続いており、採算の改善には至りませんでしたが、ポリエステル短繊維は、バインダー繊維の差別化品の売上が伸長し、輸出の採算も改善しました。アスベスト代替のビニロン繊維は、欧州の市況は依然低迷しているものの、新興国への拡販などにより、販売数量は増加しました。

衣料繊維事業では、デニムなど輸出は順調に推移しましたが、ユニフォーム分野をはじめ国内市場では、海外調達コストの上昇により減益となりました。

以上の結果、繊維事業の売上高は49,015百万円（同0.3%減）、営業損失は233百万円（前年同四半期は307百万円の損失）となりました。

【その他】

生活健康事業では、ラクトビオン酸などの機能性食品原料の販売は堅調でしたが、健康食品、飼料原料は低調に推移しました。メディカル事業では、医用材料分野は、主力の循環系カテーテルの堅調な推移に加えキチン材料の新製品も寄与し、生化学分野でも診断薬の売上が伸長したため、収益は増加しました。

不動産関連事業では、マンション販売が堅調に推移し、収益が増加しました。

以上の結果、その他の売上高は11,323百万円（前年同四半期比35.8%増）、営業利益は1,008百万円（同132.6%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ3,755百万円増加し、258,809百万円となりました。これは、主として現金及び預金が減少したものの、売上債権、たな卸資産が増加したことによります。負債は、前連結会計年度末に比べ971百万円増加し、234,707百万円となりました。これは、主として借入金が増加したことによります。純資産は、前連結会計年度末に比べ2,784百万円増加し、24,102百万円となりました。これは、主として利益剰余金が増加したことによります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第３四半期連結累計期間の連結業績につきましては、為替差益による営業外収益の増加などがありましたが、依然として先行き不透明な状況が続いておりますので、現時点では通期の業績予想の修正はありません。

今後の業績の推移に応じて、修正が必要であると判断した場合には、速やかに公表いたします。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において、当期純損失10,875百万円を計上した結果、株主資本が18,663百万円となり、一部の長期借入金（前連結会計年度末残高4,600百万円）の借入契約に付されている財務制限条項（決算期及び第２四半期の末日における株主資本基準等）に抵触しておりましたが、第２四半期連結会計期間において当該長期借入金を完済したため、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

引き続き、収益の抜本的な改善を図るべく、事業構造改善及び固定費削減に取り組み、高分子、機能材分野を中心とした成長分野への経営資源の集中を図り、事業力の改善・強化に向けた成長戦略を推進し、業績の回復に努めてまいります。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,668	15,583
受取手形及び売掛金	36,339	40,652
たな卸資産	39,776	43,182
その他	4,660	4,381
貸倒引当金	△170	△175
流動資産合計	100,274	103,624
固定資産		
有形固定資産		
土地	103,163	103,019
その他（純額）	45,265	46,137
有形固定資産合計	148,428	149,157
無形固定資産		
のれん	14	11
その他	800	1,036
無形固定資産合計	815	1,047
投資その他の資産		
その他	5,860	5,263
貸倒引当金	△325	△283
投資その他の資産合計	5,535	4,979
固定資産合計	154,779	155,184
資産合計	255,054	258,809

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,067	21,267
短期借入金	68,433	68,529
1年内返済予定の長期借入金	32,925	31,961
未払法人税等	756	810
賞与引当金	1,567	870
事業構造改善引当金	1,087	524
その他	11,724	12,470
流動負債合計	138,562	136,435
固定負債		
長期借入金	65,162	67,348
退職給付引当金	7,752	8,683
役員退職慰労引当金	53	26
その他	22,205	22,213
固定負債合計	95,173	98,272
負債合計	233,736	234,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,298	26,298
資本剰余金	4,385	4,385
利益剰余金	△11,976	△9,696
自己株式	△44	△44
株主資本合計	18,663	20,942
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	114	233
繰延ヘッジ損益	6	3
土地再評価差額金	2,979	2,979
為替換算調整勘定	△3,954	△3,739
その他の包括利益累計額合計	△854	△521
少数株主持分	3,508	3,681
純資産合計	21,317	24,102
負債純資産合計	255,054	258,809

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	113,812	119,732
売上原価	92,333	97,342
売上総利益	21,479	22,390
販売費及び一般管理費	17,643	17,505
営業利益	3,835	4,884
営業外収益		
受取利息	85	83
受取配当金	90	79
為替差益	202	1,133
持分法による投資利益	－	10
その他	575	566
営業外収益合計	953	1,872
営業外費用		
支払利息	2,301	2,241
持分法による投資損失	53	－
その他	487	857
営業外費用合計	2,843	3,099
経常利益	1,946	3,658
特別利益		
固定資産売却益	816	－
投資有価証券売却益	－	275
投資有価証券清算分配金	－	186
負ののれん発生益	48	－
特別利益合計	865	462
特別損失		
固定資産処分損	348	361
投資有価証券評価損	151	－
その他	458	430
特別損失合計	959	792
税金等調整前四半期純利益	1,852	3,328
法人税、住民税及び事業税	399	817
法人税等調整額	1,399	182
法人税等合計	1,798	1,000
少数株主損益調整前四半期純利益	54	2,328
少数株主利益	16	48
四半期純利益	37	2,279

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	54	2,328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26	119
繰延ヘッジ損益	△6	△2
為替換算調整勘定	△263	340
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	－
その他の包括利益合計	△249	456
四半期包括利益	△195	2,785
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△180	2,611
少数株主に係る四半期包括利益	△14	173

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

セグメント情報

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	高分子事業	機能材事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	45,793	10,538	49,142	105,474	8,337	113,812	－	113,812
セグメント間の内部売上高又は振替高	18	41	170	230	1,722	1,953	△1,953	－
計	45,812	10,579	49,313	105,705	10,060	115,766	△1,953	113,812
セグメント利益又は損失（△）	5,087	763	△307	5,542	433	5,976	△2,141	3,835

（注）１．その他には、環境事業、メディカル事業、生活健康事業、不動産関連事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△2,141百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	高分子事業	機能材事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	48,652	10,741	49,015	108,409	11,323	119,732	－	119,732
セグメント間の内部売上高又は振替高	17	46	197	261	1,219	1,481	△1,481	－
計	48,670	10,787	49,213	108,671	12,543	121,214	△1,481	119,732
セグメント利益又は損失（△）	4,764	1,253	△233	5,784	1,008	6,793	△1,908	4,884

（注）１．その他には、環境事業、メディカル事業、生活健康事業、不動産関連事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△1,908百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。